

7・18 新内海ダム計画大勉強会宣言

地質が脆弱なところに建設されようとしている新内海ダム。

私たちは恐怖に慄いています。

今日の勉強会で、その恐怖が単なる感傷的なものではなく、実際に危険性が高いことが志岐常正先生から教えていただきました。

志岐先生は講演の中で、内海地区に必要なことは洪水対策ではなく、土石流対策であることを強調され、この内海ダム再開発事業は安全性追求を目的とした事業としてはまったく的外れな事業であると警告を寄せられました。

島民・県民・全国から心配されて駆けつけられた皆さんからは、「必要性のないこの事業を中止させてなんとしても宝とも言うべき寒霞溪を守ってほしい」という励まし、「政権交代後、各県レベルでは、『何が何でもダム』という姿勢がこれまで以上に強くなっていること」が報告されました。国の「コンクリートから人へ」というスローガンが最早危機的状況にあることも報告されました。

私たちのこの事業に対する考え方（別紙添付）が正しいことが今日の大勉強会参加の皆さんから確認いただきました。さらに、小豆島島民、香川県民、全国の皆様がこの事業の中止を願っていることも明らかにされました。たくさんの元気をもらうことができました。

私たちは皆さんからのあつい支援に支えられながら、このまったく無駄な事業を中止に追い込み、私たちの平穏な生活と貴重な寒霞溪の自然を守り抜きます。

2010年7月18日

寒霞溪の自然を守る連合会

同会主催の「7・18 新内海ダム計画大勉強会」参加者一同

連絡先

香川県小豆郡小豆島町神懸通甲 1689-2 寒霞溪の自然を守る連合会 山西克明

電話 0879-82-4634

巨大内海ダム建設中止を求める私たちの考え方

1、「今の堰堤が沈下、地震で危ないから造り替える」と県が始めた巨大ダム計画。

- ・ 「巨大な新内海ダム」は、もっと地震に弱く、決壊すれば多くの人命を失う恐れ。
- ・ 堆積地で地盤が軟弱。堰堤の高さは2倍になり、沈下が速くなる恐れがあります。
- ・ 早明浦ダムより長く、黒四ダムに比肩する長い堰堤が途中で小山をまたぐ、世界に例の無い変形ダムなので、堰堤各部の沈下速度の違いから決壊の恐れがあります。
- ・ 堰堤の真下に3本の断層があること、ダムの両端は花崗岩が風化したもろい山であることもダム決壊への恐れをつのらせませす。
- ・ 別当川の新内海ダム下流域には、堰堤直下200mから2km下の内海湾までに人家約1000戸、3000人が暮らしています。決壊した場合、逃げる暇がありません。
- ・ 景観修復のために、ダムのコンクリート壁下方に15万トンの盛り土と植栽の計画が出たが、盛り土は人家に10~20mまで迫り、大雨で地滑りして人家が埋まる恐れが大きい。

2、小豆島では、水不足は解消され、将来的にも心配はない見込みです。

平成9年の吉田ダム完成で、島内ダム貯水量が2.5倍となって以来、取水、給水制限は一度もありません。香川県が渇水で早明浦ダムの水位0報道の時も、吉田ダムは200日分を超える貯水量がありました。

県、町の水需要予測は過大です。島の人口は減り続けているのが現状です。別当川流域は、約8割の家に井戸があり、田畑にも数多くの池(野井戸)があります。

大雨時に溜まった水は淀み、夏場は特にカビ臭がつかます。別当川流域は寒霞溪に源があり、各地区の簡易水道も寒霞溪に源を発するきれいな水です。この個別水源を守り利用する方がきれいな水が使える、災害時対策としても有効です。

3、巨大な新内海ダムは治水対策として有効ではありません。

巨大ダム計画のある別当川はS49、51年度の集中豪雨の際も死傷者はなく、多数の死者が出た島内の他の川に比し、被害は軽かったのです。

土石流の出た地域の被害は水系が異なるので、このダム計画では防げません。

下流域の台風時の浸水は巨大ダムではその大量放水と高潮で一層ひどくなります。

H16年の台風でひどい高潮被害を受けており、高潮や津波対策の方が急がれます。

4、国立公園寒霞溪のすばらしい自然環境、景観を破壊します。

奇岩怪石の渓谷美を誇る寒霞溪は、明治時代に島の先覚者が私財を投じて、他国の買収から守った、ナショナルトラスト先駆けの地であります。

その麓、寒霞溪への道中に今のダムの2倍の高さ42m、長さが早明浦ダムより長い447mもの堰堤のコンクリート壁が立ちはだかるのです。

また、生態系としての環境保全の必要性が認識されるようになった現在、山、里、海の中の循環を破壊して、山頂付近だけの保全がはかれると考えるのは無理があります。

5、国民、県民の185億円もの血税をこの事業に使わせては申し訳ありません。

国がタダで造ってくれると言う人がありますが、県も町も応分の負担をしなければなりません。県民の税金で、大手ゼネコンを潤すだけです。

四国の水瓶、早明浦ダムより堰堤は長いが、貯水量は300分の1と効率悪く、渇水時には水が溜まらないダムです(山頂からダムまでわずか2km。狭い谷川で湧水もなく、ダム底は礫で水が抜ける恐れがある)。

6、まだ新ダム本体工事は始まっていません。今ならまだ間に合います

寒霞溪への道路付け替え工事が、森林を破壊し、急峻な山肌を削り、盛り土をして進められ、環境を破壊し景観を損ね、川へ濁流が流れ込み、すでに地元民を危険にさらしています。

